

原隨園 はら ともゑ (西洋史學者、文學博士。明治二十七年三月十九日愛知縣生れ、昭和五十九年二月二十五日歿(二八九四―八五)。大正六年東京帝國大學文科大學西洋史學科卒。京都帝大教授。ギリシア史筆攻。

著譯書 『ギリシア史研究』(昭和二年五月二十五日岩波書店)、『アリストテレス著 『ポアテナイ人の國家』(譯、昭和二年七月十五日、改訂版、十一年四月二十日岩波書店「岩波文庫」)、『學生と西洋』(合著・河合榮治郎編、昭和十六年四月十五日日本評論社)、『世界史への斷想』(昭和十七年五月二十日創元社)、『ギリシア史研究』(第一・昭和十七年六月二十日、第一・昭和十八年一月二十五日創元社)、ハーゼブレック著 『都市國家と經濟』(市川文藏共譯、昭和十八年六月二十日大阪・創元社「史學叢書」)、『渉史漫筆』(昭和二十一年四月二十日京都・大八洲出版株式會社)、『歴史の學ぶ』(昭和二十一年六月二十五日生活社「日本叢書」)、『ギリシア文化』(昭和二十二年二月二十五日創元社「百花文庫」)、『自由主義の歴史』(昭和二十二年四月二十五日全國書房)、『歴史の反省』(合著・青丹會編、昭和二十二年一月十五日京都・永田文書堂)、『近代精神の探求』(上) (合著・京都大學學生部編、昭和二十二年十月十五日京都・明窓書房「京都大學學生部叢書」)、『美の東西』(昭和四十六年八月二十日新潮社)、『アレクサン드로ス大王の父』(昭和四十九年十月二十五日新潮社「新潮選書」)等。

